

# 公立・公的医療機関以外の2025年に向けた具体的対応方針の調査結果について

1

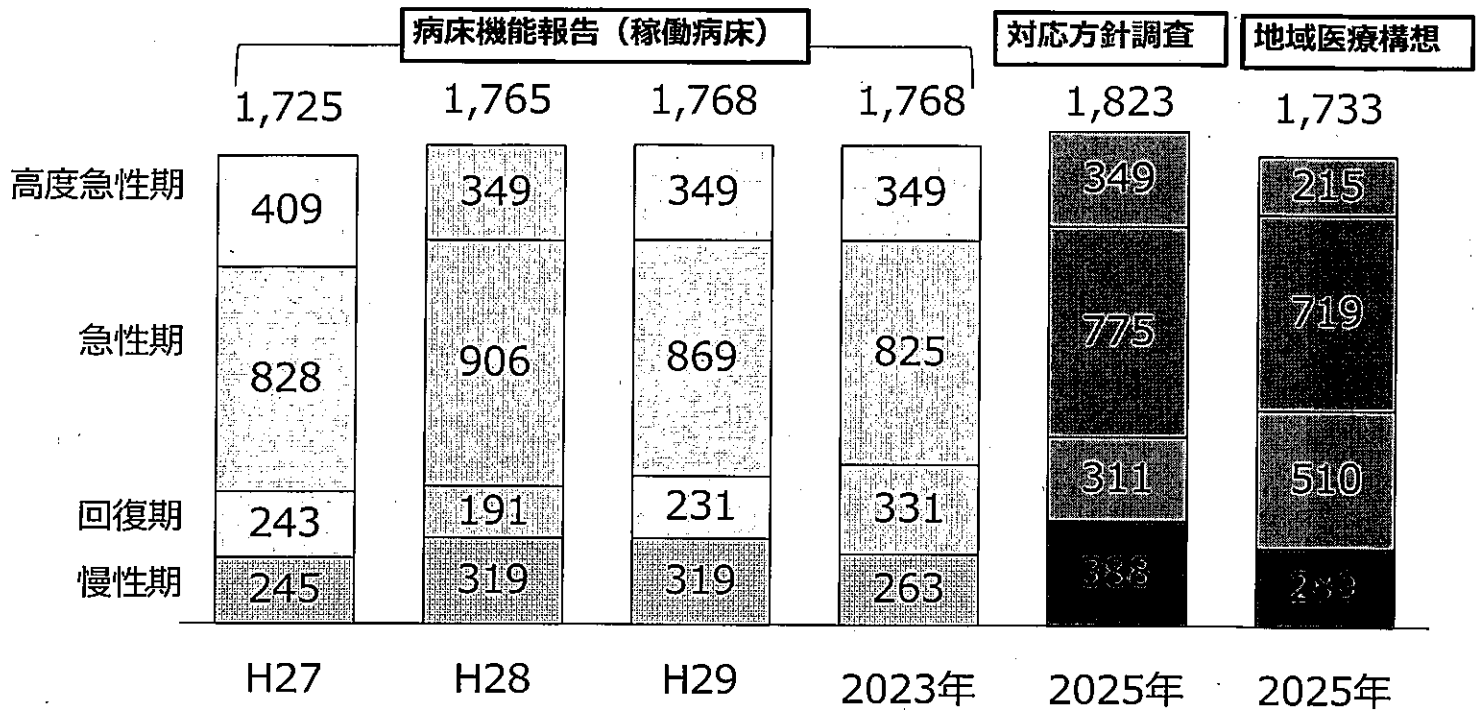
## 2025年に向けた対応方針調査の概要

- 本県では、厚生労働省が求める民間の医療機関の具体的な対応方針の策定について、地域医療構想調整会議で了承された対応方針に基づき、調査を実施。

調査項目	記入例
病院類型	在宅療養支援病院、救急告示病院 等
入院機能（入院基本料）	一般病棟7対1入院基本料、療養病棟入院基本料1 等
連携・ネットワーク	急性期病院   ○○病院のポストアキュート患者を受け入（年○○○人） 開業医   開業医のかかりつけ患者の急変受入（年○○人） 介護・福祉施設   ○○（特養）へ訪問診療を実施（年○○回）、看取り（年○○人）まで対応
病院が抱える課題	在宅急変時患者の対応を強化したいが、内科医の不足により困難。等
将来（2025年）の姿	(1) 入院：病床数 ○○病棟（急性期○○床）、○○病棟（回復期○○床）、介護医療院へ転換○○床 (2) 必要となる連携先 ○○病院（循環器ポストアキュート）、特養等（在宅急変時対応） 等 (3) その他 オンライン診療の導入を検討 等
今後の方向性	救急機能の充実   医師の確保、総合確保基金を活用した病床機能転換 等 在宅医療の実施   介護・福祉施設との連携の在り方を検討 等
総合確保基金事業等への要望	自由記載

# 調査結果について - 病床機能 -

- 2025年に向けた対応方針調査に基づく諏訪医療圏の病床数は、以下のとおり。
- 平成29年度病床機能報告と比較すると、**急性期病床が減少し、回復期・慢性期病床が増加する**見込みである。（医療機関ごとの詳細は次ページに掲載）



3

# 調査結果について - 病床機能 詳細 -

- 医療機関ごとの対応方針は、以下のとおり。
- 複数の医療機関において、病床機能の転換が行われる見込み。

区分 (下記※1)	高度急性期		B-A	急性期		B-A	回復期		B-A	慢性期		B-A	計		B-A
	A	B		A	B		A	B		A	B		A	B	
諏訪赤十字病院	267	267		158	158								425	425	
諏訪中央病院	74	74		214	172	-42	36	78	42	36	36		360	360	
岡谷市民病院	8	8		152	152		89	45	-44	42	86	44	291	291	
富士見高原医療福祉センター富士見高原病院				151	107	-44		44	44				151	151	
医療法人研成会諏訪湖畔病院				58	50	-8	52	90	38				110	140	30
社会医療法人南信勤労者医療協会諏訪共立病院				56	56		54	54					110	110	
諏訪マタニティークリニック				33	33								33	33	
諏訪城東病院										48	48		48	48	
祐愛病院										49	49		49	49	
社会福祉法人信濃医療福祉センター										102	127	25	102	127	25
川岸医院										14	14		14	14	
ちの泌尿器科													0	0	
医療法人 小池医院										9	9		9	9	
山崎医院										13	13		13	13	
あおぞらレディス&マタニティークリニック				16	16								16	16	
主橋整形外科歯科医院										6	6		6	6	
野村ウイメンズクリニック				9	9								9	9	
今井整形外科				11	11								11	11	
平岡産婦人科				11	11								11	11	
	349	349		869	775	-94	231	311	80	319	388	69	1768	1823	55

(※1 A:平成29年度病床機能報告(病床機能報告における区分)

B:2025年に向けた対応方針調査(地域医療構想における区分)

(※2 有床診療所は、平成29年度病床機能報告を用いて集計)

# 調査結果について - ネットワーク -

【連携・ネットワークの状況】※調査票にご記載をいただいたもの。

○ 医療機関ごとの連携状況は以下のとおり。

急性期	医療機関施設名	開業医
諏訪赤十字病院、岡谷市民病院等から年間77件受け入れ	医療法人研成会諏訪湖畔病院	紹介入院の受け入れ (年間44件)
諏訪赤十字病院のポストアキュート患者受け入れ (年間200人)	社会医療法人南信勤労者医療協会諏訪共立病院	諏訪圏内のかかりつけ患者の急変受け入れ (年間62人)
諏訪日赤24名、諏訪中央10名、諏訪共立11名、富士見高原3名、一之瀬脳神経3名受け入れ	諏訪城東病院	開業医のかかりつけ患者の入院受け入れ (急性増悪時3名)
急変時などに県立こども病院への転院はあるが、連携までには至っていない	社会福祉法人信濃医療福祉センター	連携なし

医療機関施設名	介護・福祉施設
医療法人研成会諏訪湖畔病院	関連外の介護老人福祉施設等へ月1~2回訪問 年間40件程度
社会医療法人南信勤労者医療協会諏訪共立病院	施設への訪問診療(年147件) 看取り(年26件)
諏訪城東病院	入所者の急性増悪時1名受け入れ
社会福祉法人信濃医療福祉センター	連携なし

5

# 調査結果について - 課題 -

【抱える課題】※調査票にご記載をいただいたもの。

- 諏訪圏域における医療機関ごとの課題は以下のとおり。
- **全ての医療機関から人的資源に関する課題**が挙げられたほか、施設の老朽化に伴う立て替えの検討、耐震化など物的資源に関する課題も多く存在する。

医療機関施設名	課題
医療法人研成会諏訪湖畔病院	人的資源   医師の確保、高齢化 (当直可能な医師が減少傾向、紹介会社から当直医師を派遣してもらう)
社会医療法人南信勤労者医療協会諏訪共立病院	人的資源   外来診療を担う常勤医が不足 訪問診療を行う医師の不足(増加する在宅医療の需要に応えられない) 物的資源   病院のリニューアル(毎年多額の修繕費を計上している。立て替えを検討するが、巨費がかかり、用地の目途も立っていない。) 受入体制   患者待ち時間が長い(初診外来と予約外来を分離できないため)
諏訪城東病院	人的資源   スタッフの世代交代 経 営   病院継続のための財政基盤の脆弱性
祐要病院	人的資源   常に人材不足(在宅医療をやりたいと考える看護人材の不足) 物的資源   施設の老朽化(耐震、スプリンクラーの対応が必要だが、費用負担が大きい) 在宅医療   在宅患者の急変時対応を強化したいが、いつも満床 受入体制   急性期、亜急性期の病院からの患者受け入れに時間がかかる (キャパシティーが小さい)
社会福祉法人信濃医療福祉センター	人的資源   医師や看護師の不足(施設入所児の重度化が進む) 経 営   国の方針もあり、障害児が在宅を選択することが増え、入所児の確保が難しい

(※1 未記入の医療機関は掲載なし。)

6

# 調査結果について - 今後の方向性 -

【今後の取組】 ※調査票にご記載をいただいたもの。

医療機関施設名	救急機能の充実	在宅医療の実施	その他
医療法人研成会諏訪湖畔病院	医師の確保	地域の開業医と連携し、訪問看護・訪問リハの依頼を受けていく	平成31年度耐震改修工事後、回復期リハ病棟を新設予定
社会医療法人南信勤労者医療協会諏訪共立病院	広い救急処置室を整備し、スタッフの教育もしながら、救急外来のレベルアップを図りたい 外来担当医を増員し、初診外来を別にしたい	訪問診療を担う医師を増員し、今後増加する訪問診療需要に応えたい	
諏訪城東病院	現状維持	スタッフの増員	
社会福祉法人信濃医療福祉センター	予定なし	国の動向を把握し、時代のニーズに合わせ対応をしていく	
祐愛病院	ほとんど満床のため、現実的ではない	今後、拡充していきたいと考えている	

7

## 現状の諏訪医療圏の提供体制（調査結果等を踏まえたもの）

1 今回の調査結果及び昨年度共有した公立・公的医療機関のプランの内容を踏まえた諏訪医療圏の提供体制  
(病院類型や主な病棟機能に着目したもの)

(出典：「施設基準の届出状況」関東信越厚生局長野事務所 平成30年10月1日現在を参考に県で集計)

	諏訪赤十字病院	諏訪中央病院	岡谷市民病院	富士見高原病院	諏訪湖畔病院	諏訪共立病院	諏訪マタニティークリニック	諏訪城東病院	祐愛病院	信濃医療福祉センター
	日赤	市町村	市町村	厚生連	医療法人	医療法人	医療法人	医療法人	医療法人	社会福祉法人
救命救急センター	◇									
地域医療支援病院	◇									
救命救急入院料1	10									
特定集中治療室管理料1	8									
脳卒中ケアユニット入院医療管理料	6									
新生児特定集中治療室管理料2	6									
新生児治療回復室入院医療管理料	4									
ハイケアユニット入院医療管理料1	8									
ハイケアユニット入院医療管理料2			8							
救急告示病院or稱置制	●	●	●	●	●	●				
急性期一般入院料1	387	190	156							
急性期一般入院料4				97	58	56				
小児入院医療管理料4	19	16	15							
小児入院医療管理料5				151						
地域一般入院料3							33			
地域包括ケア病棟入院料1				54						
地域包括ケア病棟入院料2		86	44		52					
回復期リハビリテーション病棟入院料1		36	45							
回復期リハビリテーション病棟入院料2						54				
入院料1(療養病床)		36						48	49	
入院料2(療養病床)			25							
緩和ケア病棟入院料1		12								
緩和ケア病棟入院料2			17							
障害者施設等入院基本料10対1入院基本料										127
在宅療養支援病院				●		●強化型			●	

2 平成29年度病床機能報告における稼働病床数と病床機能の区分

	349	287	74	18							
高度急性期	349	287	74	18							
急性期	822	158	214	152	151	58	56	33			
回復期	231		36	89		52	54				
慢性期	277		36	42					48	49	102
計	1679	425	360	291	151	110	110	33	48	49	102

## 現状の諏訪医療圏の提供体制（関連レセプトの発生状況）

- 診療行為の充足状況を測る指標「SCR(Standardized Claim data Ratio)」による、諏訪医療圏の入院機能に関する状況
- SCRが100を超えていれば、その診療行為は全国平均に比べて充足していると考えられる。

大分類	中分類	指標名	区分	諏訪医療圏
基本診療体制	入院診療体制	一般入院基本料	入院	117.6
		一般入院基本料（7対1）		117.5
		一般入院基本料（10対1）		79.4
		一般入院基本料（13, 15対1）		104.8
		DPC入院（再掲）		135.9
		療養病棟入院基本料		40.0
		医療区分3相当（再掲）		54.4
		医療区分2相当（再掲）		33.6
		医療区分1相当（再掲）		133.1
		障害者施設等入院基本料		88.1
		有床診療所入院基本料		33.9
		有床診療所療養病床入院基本料		210.9
		地域包括ケア病棟		199.5
	特定入院料	救命救急入院料		186.9
		特定集中治療室管理料（ICU）		64.4
		新生児特定集中治療室管理料（NICU）		488.3
		小児入院医療管理料		155.8
		回復期リハビリテーション病棟入院料		104.3
		緩和ケア病棟入院料		188.7
		脳卒中ケアユニット入院医療管理料（SCU）		61.2
ハイケアユニット		338.7		
在宅	在宅体制	療養病床における急性期や在宅からの患者受付	77.2	
		在宅療養中の患者の緊急入院を受け入れ	52.4	
その他	リハビリ	運動器リハビリ	81.1	
		呼吸器リハビリ	161.1	
		摂食機能療法	180.5	

低 ■ → 高 ■

## 現状の諏訪医療圏の提供体制（関連レセプトの発生状況）

- 診療行為の充足状況を測る指標「SCR(Standardized Claim data Ratio)」による、諏訪医療圏の入院機能に関する状況
- SCRが100を超えていれば、その診療行為は全国平均に比べて充足していると考えられる。

大分類	中分類	指標名	区分	諏訪医療圏
癌診療	癌診療	悪性腫瘍患者（主傷病）	入院	92.2
		がん診療連携拠点病院による集学的治療の体制		65.1
脳血管障害	脳血管障害	脳血管障害患者（全体）（主傷病）		84.3
		超急性期脳卒中加算		131.9
	脳卒中	脳卒中のtPA		95.6
		脳卒中の経皮的脳血管形成術等		33.3
		脳卒中の動脈形成術等		108.1
		脳卒中に対する急性期リハビリテーション		132.4
		脳出血患者（主病名）		92.0
	脳出血	脳出血の脳室ドレナージ等		37.1
		脳出血の脳血管内手術等		112.1
		くも膜下出血		くも膜下出血患者（主病名）
	くも膜下出血の脳血管内手術			30.3
	くも膜下出血の穿頭脳室ドレナージ術等			49.7
	くも膜下出血の脳動脈瘤流入血管クリッピング等			168.9
	脳動脈瘤	未破裂動脈瘤患者（主病名）		52.4
		未破裂動脈瘤の脳血管内手術		
未破裂動脈瘤の脳動脈瘤流入血管クリッピング等		158.5		
心疾患	虚血性心疾患	急性心筋梗塞患者（主病名）		134.1
		急性心筋梗塞に対するカテーテル治療		121.4
		急性心筋梗塞に対する心臓血管手術	130.1	
		狭心症に対するカテーテル治療	89.8	
		狭心症に対する心臓血管手術	140.2	
	その他	大動脈内バルーンポンピング法	77.4	

低 ■ → 高 ■

# 現状の諏訪医療圏の提供体制（関連レセプトの発生状況）

- 診療行為の充足状況を測る指標「SCR(Standardized Claim data Ratio)」による、諏訪医療圏の入院機能に関する状況
- SCRが100を超えていれば、その診療行為は全国平均に比べて充足していると考えられる。

大分類	中分類	指標名	区分	諏訪医療圏
救命・救急	救急	救急医療の体制【2次救急】	入院	200.7
		救急医療の体制【3次救急】（再掲）		186.9
	救急搬送	救急患者の医療連携の体制【高次救急医療機関】		227.0
		救急患者の医療連携の体制【受入医療機関】		177.5
周産期	母体の管理	妊産婦の救急医療体制		84.7
		妊娠合併症に対する医療体制		73.8
		ハイリスク分娩に対する医療体制		84.5
小児医療	小児の外来	小児夜間・休日診療体制		155.6
	小児の入院	乳幼児の入院医療体制		191.0
		小児の入院医療体制		155.8
精神医療	精神科体制	精神科と救命救急の連携	116.9	
		精神科地域移行実施加算	183.0	
		入院精神療法	54.0	
在宅	在宅医療	往診	全体	101.4
		緊急往診	全体	87.1
		訪問診療（同一建物）	外来	42.8
		訪問診療（特定施設）		68.5
		訪問診療（居宅）		117.4
		訪問看護提供		109.7
		ターミナルケア提供		80.5
看取り	全体	79.4		
その他	地域連携バス	大腿骨頸部骨折、脳卒中患者の連携バス利用者（第1入院機関）	入院	141.1
		大腿骨頸部骨折、脳卒中患者の連携バス利用者（第2入院機関）	入院	141.4
		がん連携バス利用者（第3入院機関）	全体	85.2
		がん連携バス利用者（第2入院機関）	外来	362.9

低 ■■■ → 高 ■■■